

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	京都スパシウム就労支援センターししん
住 所	京都市下京区立中町502四条ファーストビル4階
電話番号	075-811-8056

事業所番号	2610481133
管理者名	佐久間雅美
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所：京都スパシウム就労支援センターししん 実施概要：地域住民を対象としたパソコン教室 当施設においては、利用者さんの一般就労に役立てようと、パソコン技能の向上や資格取得のサポートに取り組んでおります。マイクロソフトの資格を取得した利用者さんから「教えてもらえばかりでなく、誰かに教えてみたい。」との希望があったため、施設の玄関先に利用者が手書きした「生徒募集」の看板をだしたところ、町内のおじいちゃんと、お隣のマンションのご婦人が習いに来てくれることとなりました。 利用者数：A型利用者1名、B型利用者1名	<活動の様子> 写真  パソコン教室での学習風景（上）画面中央左側の背中が「Kさん」75歳。同右側が利用者で先生の岩崎さん。  玄関先パソコン教室看板（右） 授業は月・水・金の ・10:30～12:00 ・13:30～15:00 ご近所さんを対象に生徒募集中で
<目的> 地域連携活動のねらい (1)地域に根ざした施設として定着 活動の基盤となる地域や地元住民とは、あらゆる機会を生かして連携を図り微力ながら貢献したい。今回の活動もその一つであり、このような地道な活動を継続することで真に地域に根差した施設として地域に定着し、同時に利用者の地域での居場所と充実した日常生活の確保につなげたいと考えています。 (2)高齢者の居場所の提供と健康増進 高齢者に敬遠されがちなパソコンなどのデジタル機器の扱いを、無理せずその方のペースで学び体験することで、少しずつでもその楽しさや利便性を実感していただきます。週に一度のパソコン教室が、楽しみとなり脳の活性化と健康の増進に繋がれることを願っています。	
<成果> パソコン教室の生徒である「Kさん」（75歳）は、「永年撮りためた写真のデータをパソコンを使って整理したい」ということで、当初は短期間の予定で通って来られました。写真整理は短期間で済見ましたが、徐々にパソコンに対する勉強意欲がふつふつと湧き上がり、現在すでに1年を経過しています。最近ではパソコン教室が生活の一部となり毎週お元気に通ってこられる様子で、微力ながら健康長寿のお役に立っていることをうれしく思っています。	

生徒さんの意見または評価

最初は長年とりためた写真のデータをパソコンに保存する方法を教わるだけのつもりで通い始めたのですが、それだけで辞めてしまうのが非常に惜しい気持ちになり、気が付けば1年以上が過ぎております。いまでは、パソコンが趣味の一つとなり、パソコン教室が生活の一部となりました。先生には、これ以上ないと言うほどの丁寧さで教えていただけるので、年寄りとしては非常に有難く感謝の気持ちでいっぱいです。これまでに、心臓の手術や検査などで途中お休みすることもありましたが、今日まで続けてこられたのは先生のおかげです。

パソコン教室生徒	k・J	担当者名	岩崎
----------	-----	------	----

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	スパシアム京都就労支援センターししん
住 所	京都市下京区立中町502四条ファーストビル4階
電話番号	075-811-8056

事業所番号	2610481133
管理者名	佐久間雅美
対象年度	令和 5 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞	＜活動の様子＞
活動場所：「就労支援センターししん」からオンライン 実施日程：令和 7 年 3 月 26 日 実施概要：オンラインによるパソコン危機管理研修 在宅支援を行っている A 型利用者（オンラインそろばん教室講師）に対し、サイバーセキュリティに関する教養を実施した。教養は関連会社一般社団法人シシン、パソコン事業部の責任者山田主任が担当し、利用者各人はそれぞれの自宅において受講した。 利用者数：A 型 3 人 ＜目的＞ 受講者はいずれも当事業所が運営するオンラインそろばん教室の講師であり、常に単独でパソコンを扱い担当業務に従事していることから、サイバーセキュリティに関する最新の知識と技能を修得することでサイバー犯罪被害の未然防止に努めるものである。 ＜成果＞ 4 月 30 日現在、サイバー犯罪被害の発生を見ないのはもちろんのこと、これまでは指示待ちであったデータのバックアップ、最新のソフトへのアップデートといった重要な作業を自らの判断で行うようになるなど、明らかに利用者のサイバーセキュリティに対する意識レベルが向上した。	 【オンラインによるパソコン危機管理研修の様子】 写真左手前は一般社団法人シシンパソコン事業部山田主任。 当日はサイバーセキュリティの概要とその重要性及びサイバーセキュリティ 3 原則について具体的なお話を伺いました。中央のパソコン画面には講義を受講している A 型利用者 3 人と聴講を希望した職員 2 名の顔が見えます。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

企業や組織においては、たった一人の不注意が、ウイルスへの感染や情報漏洩（ろうえい）といった脅威につながる可能性があります。社員・職員の一人ひとりが、情報セキュリティ対策の必要性を理解し、自覚をもって取り組むことが重要です。多くの企業や組織では、情報セキュリティ対策の方針や行動指針を明確にした情報セキュリティポリシーが策定されています。貴社においても策定されていることと思いますので、必ずその内容を確認のうえ愚直に従うことが何より重要です。万一の場合の被害の甚大さを考えると情報セキュリティ対策の重要性がご理解いただけることと思います。

連携先企業（担当者）	一般社団法人シシン 山田泰輔
------------	----------------

利用者からの意見・評価

・会社の規模の大小にかかわらず無作為に犯罪者から狙われていることを知り、改めて気を付けようと思いました。アプリケーション・OSのアップデートが重要であるなどということは聞き知っていましたが、これまではどうしたらよいかわからず放置していました。今回、具体的な操作まで指導していただいたのでこれまでのもやもやがすっきりした感じです。S 子（38 歳）

・これまでサイバー犯罪の被害なんて自分には関係ないことと思ってきましたが、万一にも被害に遭った時の業務上の影響の大きさを考えると、一人一人のサイバーセキュリティに対する取り組みの重要性がわかりました。サイバーセキュリティ 3 原則を忘れず実践していこうと思います。K 助（55 歳）

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	スパシアム京都就労支援センターししん
住 所	京都市下京区立中町502四条ファーストビル4階
電話番号	075-811-8056

事業所番号	2610481133
管理者名	佐久間雅美
対象年度	令和5年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		80
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

（Ⅱ）生産活動

①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		-20
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う資金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う資金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満	○	
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検動機に関する制度		15
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		5

点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	-50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							

合計
110点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間									
前年度（令和6年度）									
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	7,647	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,260	人	利用者の1日の平均労働時間数	6	時間	
(Ⅱ) 生産活動									
会計期間（9月～8月）									
前々々年度（令和3年度）									
生産活動収入から経費を除いた額	2,027,847	円	利用者に支払った賃金総額	8,931,768	円	収支	▲ 6,903,921	円	
前々年度（令和4年度）									
生産活動収入から経費を除いた額	2,839,318	円	利用者に支払った賃金総額	11,683,835	円	収支	▲ 8,844,517	円	
前年度（令和5年度）									
生産活動収入から経費を除いた額	3,214,197	円	利用者に支払った賃金総額	10,121,431	円	収支	▲ 6,907,234	円	
(Ⅲ) 多様な働き方									
前年度（6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）									
①免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度			②利用者を職員として登用する制度			③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
◎免許・資格取得・検定の受検助奨に関する制度を定めている			◎利用者を職員として登用する制度を定めている			在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている			
④フレックスタイム制に係る労働条件			⑤短時間勤務に係る労働条件			⑥時差出勤制度に係る労働条件			
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている			◎短時間勤務に係る労働条件を定めている			◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			⑧傷病休暇等の取得に関する事項						
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている			◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている						
(Ⅳ) 支援力向上									
前年度（6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）									
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			②研修、学会等又は学会誌等において発表			③視察・実習の実施又は受け入れ			
◎研修計画を策定している			◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している			◎先進的事業者の視察・実習の実施している			
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。			※研修、学会等名			もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている			
			実施日 月 日			※先進的事業者名			
※研修名 相談支援従事者初任者研修			※学会誌等名			実施日/参加者数 月 日 人			
受講者 川村 智子			掲載日 月 日			※他の事業所名 京都中央看護保健大学校			
受講日 9月 5日			発表テーマ			実施日/参加者数 8/22～8/23 3人			
						実施日/参加者数 9/18～9/19 2人			
④販路拡大の商談会等への参加			⑤職員の人事評価制度			⑥ピアサポーターの配置			
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。			◎職員の人事評価制度を整備している			◎ピアサポーターを配置している			
※商談会等名 祇園阿部屋とのコラボ商談会			◎当該人事評価制度を周知している			◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している			
主催者名 合同会社シン			人事評価制度の制定日 R3年 4月 1日			※配置期間 月 日～ 月 日			
日時 令和6年1月23日			人事評価制度の対象職員数 10名			就業時間			
内容：昨年に引き続き祇園阿部屋の京野菜輪とのコラボ商品（京野菜パワーストーンネックレス）の開発とあべや店頭での販売を協議した。			うち昇給・昇格を行った者 昇給2名 昇格0名			職務内容			
			当該人事評価制度の周知方法						
			職員会議において教養を実施						
⑦第三者評価			⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等						
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている			◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている						
※評価を受けた日 月 日			※認証を受けた日 月 日						
第三者評価機関			規格等の内容						
(Ⅵ) 経営改善計画									
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。									
※受理日 令和 5年 11月 日									

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。